

各 位

会社名 ITbook ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役会長兼 CEO 恩田 饒
代表取締役社長 前 俊守
(コード：1447、東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長兼 CFO 神谷 修司
(電話番号：03 - 6264 - 8200)

特別損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）において214百万円を特別損失として計上いたします。また、最近の業績動向および特別損失の計上を踏まえ、2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績予想について、以下の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容

(1) 新型コロナウイルス感染症関連損失

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府や地方自治体からの要請・声明等により、主にアパレル事業そして、教育人材・海外労働者派遣事業は、店舗の臨時休業、営業時間短縮、一部の営業拠点の運営停止・縮小、東南アジア人材の仲介中止等が発生し、売上高・利益が大きな影響を受けています。

この結果、これらの事業の当該期間中に発生した固定費等（人件費、店舗家賃、水道光熱費、通信費等）で55百万円および、アパレル事業の株式会社三鈴は、店舗売上減少による固定資産減損損失61百万円を特別損失に計上しました。

また、教育人材派遣事業の株式会社イストおよびB&W株式会社に対しては、2021年3月期第3四半期末時点の、のれん残高98百万円を減損処理し一括償却することとしました。

2. 業績予想の修正

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,673	324	264	46	2.16
今回修正予想 (B)	23,189	10	△22	△495	△23.09
増減額 (B-A)	△2,484	△314	△286	△542	—
増減率 (%)	△9.7	△96.9	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	21,224	155	140	83	4.20

※「1株当たり当期純利益」につきましては、21,464,001株 (2021年2月15日現在) を用いて計算しております。

(2) 修正の理由

2021年3月期の通期連結業績予想は、2020年6月5日公表の決算短信に記載し、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、売上高・営業利益・経常利益の減少および当第3四半期の業績で特別損失を計上したことを踏まえ、通期業績予想の修正を行うこととしました。

前提として、感染症の拡大・収束が見通せない中、政府や自治体の各種政策が実施されているものの、当社グループ内で影響を受けている事業の業績は、依然、厳しい状況が継続するものと想定しております。

このような状況下、アパレル事業の更なる不採算店舗の閉店そして、グループをあげて固定費削減約80百万円のコストカットに取り組んでおります。

なお、今後、菅内閣が掲げるデジタル改革に伴い、コンサルティング事業やシステム開発事業等への好影響も見込めます。

(3) 連結業績予想の修正概要<ご参考>

①売上高

売上構成の高い、アパレル事業で店舗の臨時休業等および、地盤調査改良事業で工事延期・休止等が発生し、減収となる見込みです。(減収額、約19億円)

②営業利益・経常利益

上記①に記載の通り売上高の減少に伴い、特にアパレル事業で営業損失約3億円発生し、相対的に固定費も増加となり、減益となる見込みです。(減益額、約3億円)

③親会社株主に帰属する当期純利益

上記②に記載の通り営業利益・経常利益の減少および、この度の特別損失を計上したことにより、減益となる見込みです。(減益額、約5.5億円)

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上